

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年2月28日

事業所名 デイサービスセンターけあぽーとくれよん

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動によつて構造化している。(遊び・課題の部屋分(+))	
	2	職員の配置数は適切である	○		保育士の人数は適切。	目標としては人員増加。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		手すり、スロープ、バリアフリーの確保。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		社中研修や勉強会、管理者同士会議を実施。	毎日実施はしている。PDCAサイクルをさらに確立する。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケートを基に、ホームページを作成し、活動の様子を掲載している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		玄関に掲載。	今後ホームページにも掲載予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者委員を設置し、苦情等の窓口を設けている。	外部評価からの業務改善。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内研修、外部からの講師を招き、研修会、コーチングを実施。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を把握するためには、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			PDCAサイクルを確立する。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		曜日や内容が重ならないように工夫。	バリエーションの増加や、公共施設での活動を目標。。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			個別に目標設定をしている。長期休暇は外出活動を設定。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		出勤している職員全員で必ず打ち合わせるようにしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		気付いた点、支援内容、子どもの状況を必ず打ち合わせている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		カンファレンスの際は日々の記録を振り返り、支援の改善に繋げている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○			今後地域交流を図ることを目標。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。	○	児発育・保育士が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	送迎時に口頭で子どもの様子の確認、学校を見学し情報共有を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		非該当
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	利用前に児子・訪問・情報共有をしている。今後も引き続き行っていく。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○	支援協議会議等で情報共有。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		コロナ禍のため、研修はできていない。今後連携を取り、実施していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	面談や送迎時、日々の連絡帳に、様子・今後の課題についてを伝え合っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時に説明を実施。重要事項説明書ファイルを玄関に設置。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	苦情窓口担当者、苦情解決責任者を設置している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	○	今後検討中。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	月1回、活動便りを配布している。ホームページも開設。	
	35	個人情報に十分注意している	○		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	それぞれに応じた対応の仕方をしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	○	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	マニュアルはあるが、周知はできていない。今後玄関に設置。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>	避難訓練、防犯対策等を行った。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>	年一回、社内研修をしている。虐待防止責任者を設置。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	<input type="radio"/>		該当者なし。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>	その都度記載している。	